

名手

訪問

小沢紅子 (おざわ べにこ)

対談 小沢紅子 (草月流師範会理事)

西川扇藏 ((財)日本舞踊振興財団理事長)

[敬称略]



2006年7月10日
(於: 東京會館)

西川 先日行われた国際交流基金の小倉理事
長主催の晩餐会は大変賑やかで楽
しい会合でしたね。

小沢 素晴らしい方々にお会いできて本当
に嬉しく思いました。

西川 そうですね、中国の王大使や平山郁
夫先生、デザイナーのコシノジュン
コさんといった方々と歓談ができた
です。とりわけ小沢先生にはじめて
お目にかかれたのが何よりも光栄に
存じております。

小沢 恐れ入ります、私は日本舞踊には全
く知識がないものでお会いする前は
大変緊張いたしておりました。

西川 あの時はずっと先生とはお席が離
れていましたので残念でございまし
たが、今日改めてお目にかかれて、
じっくりとお話しをさせていただく
機会を設けていただき何よりでござ

います。

小沢 ありがとうございます。もとより平
山先生は日中友好協会の会長をされ
ていらっしゃいますし、同席されて
いましたセゾンの辻井喬氏も日中
文化交流協会会長というお立場がござ
います。私はたまたま縁あって中国
に頻繁に訪問するようになって、生
け花を教えたりデモンストレーショ
ンをさせていただいたりしているう
ちに、中国農業大学の客員教授とい
う肩書きをいただいまして、
そんなことでお誘いを受けたのだと
思います。西川先生も中国にはよく
いらっしゃるのですか。

西川 いえ、私はたいして伺っていません。
随分以前に広州に行きまして、こ
ちらの日本舞踊を披露し、併せて中
国の舞踊を拝見させていただくとい

- 催しでした。
- 小沢 それは結構なことでございますね。双方の文化を紹介しあうことは文字通り文化交流の原点だと思います。
- 西川 恐れ入ります。ところで先生は日本の生け花、華道ですね、この文化を長年中国へ紹介なさっているわけですが、訪中歴はもうかなりになるのでしょうか。
- 小沢 そうでもないのですが、中国は大変国土が広くございますので、必然的にその土地によって大分様子が異なります。先生がいらっしゃった広州は大変豊かなところでございますね。
- 西川 そうなんでしょうか、そういえば食べ物は大変美味しかったように記憶しております。(笑)
- 小沢 そうなんです、私も油の強いものは苦手なのですが、中国のお料理は本当に美味しくいただけます。よく大使館や総領事館の方々心配してくださって、長期の滞在でたまには和食を用意して下さるのですが、私は断りまして是非中国のお料理をとお願いするのです。(笑)
- 西川 よく分りますね、それは。私も飲茶は大好きです。私どもは余り観光をしませんので、どうしても楽しみは食べることになってしまいます。
- 小沢 仰る通りですね、私も仕事以外では中国へは行きませんから、恥ずかしいことに万里の長城へもまだ行っていません。いずれ何とか時間を作ってみたいとは思っていますが。
- 西川 しかしお仕事に打ち込んでいらっしゃる間はなかなかそうもいかないでしょうね。
- 小沢 そうかもしれませんね。ところで私のはじめて中国へ赴いたのが1992年だったのでしょうか、そのとき花屋さんへ連れて行ってもらった時は驚きました。グラジオラスが2、3本に菊とカラーが少し、あとは葉っぱと枯れたものしかないのです。しかもそこが上海で一番大きな花屋さんとい
- うのですから。
- 西川 それはひどい状況ですね、どうなさいましたか。
- 小沢 苦肉の策で大使館のお庭や、大学の校庭で花を切ったりして補充するのです。しかしどうしようもないので最後には植物園をお願いをいたしました。
- 西川 生け花に花は絶対に欠くことはできないものですから相当なご苦労をなさったんですね。
- 小沢 しかしその後、輸入などで花は随分と増えまして今では楽になりました。
- 西川 それはようございました。ところで実際に華道を学ぶ中国の方たちの様子は如何でしたでしょうか。
- 小沢 最初に中国農業大学に伺ったときは例の天安門事件からまだ4、5年ほどしか経っていない頃で、学生の9割以上が男性で女性はほんのわずかしかなかった。
- 西川 そうでしたか。
- 小沢 その男子の学生たちは面構えが厳しくてまるで野武士のようでした。
- 西川 戦前の日本のようですね。
- 小沢 そうなんです。それで広い会場でお花を活けることを説明し、大体のアウトラインを作って差し上げました。そして最後にこれは日中の合同作品だから、私だけで製作するのではなく希望者は前に出てきて欲しいと促しました。
- 西川 なるほど。
- 小沢 5、6百人の学生がいたのでしょうか、皆貝のように口を閉ざして身動きすらしらないのです。
- 西川 それは困りましたね。
- 小沢 はい、私しかたがないので講堂の下へ降りて、一番後ろの学生から順順に手を引っ張ってお願いをしました。
- 西川 そんな大勢の男子学生を前にして先生は勇気がありますね。
- 小沢 いえいえ已む無くでございます。そんなこんなで何人かの学生が上がってくれました。そして自分の気持ち

に忠実に、自身の意思で花を入れるように述べました。

西川 良かったですね。

小沢 そうしましたら皆真剣な顔つきになりました。それで自分が良しと思ったところに花を入れるように教えました。

西川 先生の熱意が通じましたね。

小沢 どうなんでしょうか、しかし段々に多くの学生が自ら壇上に上がるようになりまして、面差しも野武士のような感じではなくなりまして私も安心いたしました。

西川 きちんと教えてあげれば、言葉の壁は越えて素直に従っていただけるのですね。

小沢 それから毎年何うようになりました。現在は男女の比率も変化しまして、男性が6割、女性が4割位でしょうか、皆とても可愛い学生さんです。

西川 社会の変化とともに教育現場も様変わりしたわけですね。

小沢 仰るとおりなんです。最も驚いたのは語学です。最初の頃は講義で意思の疎通を図るために英語を使おうと考えていました。もちろん私も英語を話すことはできませんが、単語を並べる程度で授業を進める手助けにしようと思ったのです。

西川 英語は万国共通の言葉とされていますね。

小沢 はい、ところが残念ながら英語を話せる学生は一人もいませんでした。

西川 それは意外ですね。我々には勤勉な中国というイメージがありますから。

小沢 それがわずか10年で全く変貌を遂げました。母国語以外に英語、日本語、フランス語、イタリア語等最低一カ国の言葉を完全にマスターしているのです。

西川 それは素晴らしい。

小沢 勤勉なのは語学だけに限りません。現在ほとんどの若い方はコンピューターを駆使しますが、日本の学生は秋葉原等の量販店で製品を買い求め

ます。

西川 私どもはコンピューターはさっぱりわかりませんが、若者はよく利用しているようです。

小沢 はい、ところが中国の学生はコンピューターの部品を安く仕入れて自分たちで組み立てるのですね。

西川 なるほど、そこから始めるのですか。たいしたものですね。

小沢 若さというものはすばらしいものだと思います。

西川  そうですね、若いエネルギーがどんどん活性化されなければいけませんね。それにつけても国同士がもっと心を開かなくてはいけないのでしょうか。

小沢 政治の世界は我々には計り知れない複雑なことが幾重にもあるのでしょうかから何とも申し上げられませんが、文化の交流だけは密に出来ると思いますが。

西川 ことに先生の華道、私どもの日本舞踊とともに日本古来のものですし、世界平和のためには大いに文化交流をしなければいけません。中国の文化はその膨大な歴史をみても多大の要素があるでしょうね。

小沢 以前に中国を訪れた時に、珍しい舞踊を拝見したことがあります。いろいろな文化人が集った催しの中で、若い好青年が披露してくださったものは今でも印象に残っております。それは音楽が全くなく無伴奏で踊られたのです。ご自身の呼吸でリズムを捉えているように感じましたが、素晴らしいものでした。

西川 それは存じ上げないですね。我々の世界の素踊りに通じますかね。

小沢 そうなんです。私、日本舞踊のことは素人ですが、西川先生をはじめテレビで日本舞踊を拝見しますが、素

踊りが私は一番好きでございます。

西川 ありがとうございます。

小沢 何かこう研ぎ澄まされたパワーのようなものをいつも感じます。

西川 素踊りは絵画に例えると素描やデッサンのようなもので、ごまかしが利きませんからどうしても精神が集中した状態で踊ります。

小沢 でも先生の素踊りは精神が行き届いているのは何となく分りますが、くだけた味と申しましょうか、余裕のようなものも見受けられます。

西川 素の状態であらゆることを表現しますので、そのように鑑賞していただく方のご理解が何より嬉しく思います。中国以外ではどこにいらっしゃいましたか。

小沢 実は中国に行く前はアメリカやヨーロッパにも頻繁に行っております。

西川 大きな都市はあらかた廻られたのでしょうか。

小沢 いえいえそんなこともございません。何回も伺ったのはアメリカでは西海岸のサンマテオといひまして、サンフランシスコの奥の方にある都市でした。

西川 私どもサンフランシスコにはたびたび出かけます。あちらに門弟が何人かおまして、4年ごとに発表会も開催しておりますので、アメリカのなかでも馴染みの深いところです。

小沢 そうでいらしたんですか、気候も穏やかで大変過しやすいところですね。

西川 ことに夏は日本と違って湿気が少な

いですから快適ですね。

小沢 そうですね。私が最初に行ったのは、広大な農園をお持ちの実業家の方のところでした。それがご縁でサンフランシスコも含めて都合10数回くらいでしたでしょうか、西海岸へは行かせていただきました。

西川 西海岸は日本人や日系人も多いので、手始めに行くには最適なのでしょうか。

小沢 サンフランシスコでは滞在が長くなりましたのでアパートを借りて生活していました。

西川 それは大変でいらっしゃいました。

小沢  今よりはまだ若かったからできたのでしょうか。西海岸以外ではニューヨーク、ワシントンをはじめとして何ヶ所かに伺っております。

西川 羨ましいですね、以前にブロードウェイの劇場でいくつかの舞台を観ましたが、あのタイムズスクエアで日本舞踊を上演してみたいものです。

小沢 素晴らしいことです、実現を楽しみにしております。

西川 ありがとうございます。先生にはこれからも国内外で大いに活躍ください。

小沢 はい、お互いに健康には留意して頑張りましょう。

西川 今日はどうもありがとうございます。

小沢紅子氏 プロフィール

草月流師範会理事・草月会東京都委員・中国国立農業大学客員教授(北京)・小沢紅子教室(草月流いけ花・フラワーアレンジメント)主宰。

東京家政大学華道部指導。企業数社の社員教育及び華道部指導。海外講演及びデモンストレーション(長年に亘りアメリカ、

ヨーロッパ)多数。1992年より毎年中国で日本大使館、総領事館を始め各地で指導。この間国際交流基金より2回派遣された。また、中国政府より外国人への最高の勲章「国家友誼奨」を受賞。政府機関誌に日本人として初めての表紙となった。

2002年 在中国日本国大使阿南惟茂氏より表彰される。

2006年 麻生太郎外務大臣より表彰される。